

三島市長 豊岡 武士 様

三島市議会議長 堀江 和雄

令和7年度予算編成に向けての意見・要望事項について

三島市議会は、9月5日に予算決算特別委員会に令和5年度の決算審査を付託し、9月9日から17日のうち6日間で、総務、福祉教育、経済建設の各分科会において決算に関する質疑等を行うとともに、当局に対する令和7年度予算編成に向けての意見・要望を取りまとめ、9月27日の予算決算特別委員会において決定しました。

つきましては、令和7年度予算編成に向けた意見・要望事項を下記のとおり提出します。

記

1 伊豆ファン倶楽部推進事業

伊豆ファン倶楽部推進事業は、専用のアプリ上で登録店舗の買い物等によりポイントが付与される事業であるが、令和5年度の2か月間で付与したポイント数は223ポイントで、アプリ登録者数1,069人や登録事業者数100件という数値からすると、KPIは達成しているものの、アプリが積極的に活用されている状況とは言い難い。また、登録事業者に利用データを還元できておらず、登録事業者も増えていない状況となっている。

令和6年度からはSNSを活用したプロモーション活動も展開していて、ホームページの閲覧数も伸びているとのことだが、アプリ登録者や登録事業者がこの事業にメリットを感じられないと、事業継続は難しいと思われる。

令和7年度は、伊豆全体で運用するという当初の目標達成に向けて、引き続き、2市1町で連携し他市町の事業参入を目指すとともに、事業の自走・自立に向けて登録事業者の要望及び課題の把握に努め、登録事業者の拡大を図るよう要望する。

2 不登校対策

不登校対策については、令和5年度に中学校3校に校内支援室が設置され、教室に入れない生徒に対する学習支援等により、学びの場の確保に努められている。

複雑化している児童生徒の問題に対しスクールソーシャルワーカー7人が各中学校区に配置され、小学校における不登校も問題となっていることから、校区内の小学校と併せて対応しているが、児童生徒の問題行動が増加傾向にある中、活動時間の増加やリーダー的な人員の配置により情報共有をさらに密にするなど、活動の強化が必要になってくるものと考える。

より児童生徒に寄り添った対応を可能とするためには、スクールソーシャルワーカーはもとより、家庭・地域など社会全体で取り組むことが重要となることから、関係各所との連携を図り、未然防止も含めた体制づくりに努められたい。

3 長伏公園再整備事業

公園内施設整備事業について、本市の公園の遊具及び施設等は老朽化が進んでおり、安全管理や環境面での改善を求める市民の声が多く寄せられている。

長伏公園再整備事業では、若い世代に選ばれる公園づくりを目指し、第1期工事として寄附金を活用した大型複合遊具の設置の準備が進められているが、特に子育て世代の利用に配慮した環境整備が求められる。気候変動や猛暑の影響で、子どもたちが自由に遊ぶ機会が減少している現状を踏まえ、長伏公園整備においては、暑い夏や寒い冬に対応した全天候型の遊び場など、天候に左右されず親子が快適に過ごせる公園づくり及び民間のアイデアやノウハウを最大限活用した、魅力的で安全な公園整備を検討されたい。